



看護部通信



2019年 2月

今年は雪が少なめとと思っていましたが、2月が近づき例年同様寒さと積雪は厳しいですね。この時期に感動するのが、大仙市はじめ県南の除雪技術の素晴らしさです。ガードレールぎりぎりまで90度に雪を取り除いて、通常の道幅をキープしてくれます。お陰様で通勤中も安心して運転ができ感謝しています。

しかし、路面凍結には、くれぐれも注意！ 車のスリップ事故、歩行時の転倒による骨折が最も怖いです。安全運転と安全歩行で寒さの冬を乗り切りましょう。

<看護管理室>



雪のトンネル

4病棟 Y

今年のお正月に実家へ帰った際、姪っ子と甥っ子と一緒に“かまくら”を作ることになりました。この日のために「じーじ」が雪寄せしていた雪山で入り口を掘り始めましたが、子供たちは走りまわり作業はなかなか進みません。

そこに『じーじ』が登場。「こっちが良いのに」と別の所を掘り始め、さらに『ばーば』が「どうせならトンネルにしたら」と参加。大人3人が力を合わせて掘り進め、立派なトンネルが完成。結局“かまくら”ではなくなりましたが、子供たちは大はしゃぎで遊んでくれました。

一家総出で完成した雪のトンネルで遊んだのはその日だけでしたが、子供たちの楽しそうな姿で疲れも吹き飛びました。

昔ながらの雪遊び
秋田の原風景です
ね。



まもなく2年

4病棟 M

リハビリテーション科で働いてまもなく2年。それまでリハビリ看護の経験が無く、1年目は業務を覚えたり、学生時代の教科書を引っ張り出して解剖学や検査について学び直したりと必死でした。2年目は研修参加や看護研究の取り組みなど、学習機会が増えました。学んで調べたことをまとめる大変さはありませんでしたが、疑問が少しずつ解決すると患者さんへの関わり方もより意味づけができるケアに変わっていききました。

振り返れば、日々勉強でした。そんな中で自分が学んだことが臨床で生きてくると新しいことを覚える楽しさ、達成感を感じます。

春から3年目となります。さらに成長できるようにこの気持ちを糧にこれからも勉強をしていきたいと思っています。

新たな職場への挑戦
は大変ですが自身を
より成長させてくれ
ますね。

